



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > 第19回公開講演会「風の人 地の人 ～宮本常一という世界～」

第19回公開講演会「風の人 地の人 ～宮本常一という世界～」

NEWS RELEASE



広島大学学長室広報グループ  
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2  
TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040  
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp  
(※@は半角に置き換え送信してください。)

平成20年12月8日

第19回公開講演会開催のお知らせ

風の人 地の人 ～宮本常一という世界～

広島大学総合博物館では、第19回公開講演会を開催します。  
今回は、「民俗学者 宮本常一をめぐると時代の物語」について、中国地方での足跡を中心に取材を続ける講師に、ご自身の実体験を踏まえながら講演していただきます。

記

日 時： 平20年12月12日(金)18:00～19:30

場 所： 広島大学東広島キャンパス  
大学院教育学研究科 L102教室(総合博物館前)

講 師： 佐田尾 信作 氏(中国新聞 編集委員)

その他： 入場無料・申込不要

## 広大公式アカウント一覧



Twitter

Facebook  
(日本語版)Facebook  
(英語版)

YouTube



行事カレンダー



ストリートビュー



キャンパスカメラ



学内ポータル

～宮本常一について～

1907(明治40)年に、山口県周防大島の農家に生まれる。郵便局員や小学校教師を経て、洪沢敬三が主催するアチック・ミュージアムの一員となり、全国の農山漁村や離島の民族調査を行う。その足跡を赤インクでたどっていけば、日本列島は真っ赤に塗りつくされるといわれるほど、全国津々浦々をその足でくまなく歩いていった。そして名も無き庶民の暮らしに光をあて、血の通った独自の民俗学を築き上げた。

また、村々の生活向上や離島の振興にも力を注ぎ、鼓童の母体となった「鬼太鼓(おでんこ)座」や佐渡の「八珍柿」、周防の「猿回し」などその土地ならではの活動を根付かせていった。

1981(昭和56)年に73歳で逝去。多数の著作と日本の村々の生活を写した膨大な写真を残した。代表作『忘れられた日本人』をはじめとした著書を開けば、温かい彼の眼差しがその向こうに透けてみえるようである。

【お問い合わせ先】

広島大学総合博物館 担当:橋本

TEL:082-424-4212

E-mail:museum@hiroshima-u.ac.jp

(@は半角@に変換した上、送信してください。)